

# 若葉台地区

## 小中学校跡地活用検討・調整委員会ニュース 第10号

H25. 4. 5 発行：若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会

若葉台地区の小中学校は、平成19年4月に小・中各1校ずつに再編統合されました。その後、学校としての役割を終えた3校の跡地活用を具体的に検討するため、平成20年9月に「若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会」(以下「委員会」といいます。)が設置され、検討協議を重ねてきました。2月9日(土)第13回委員会が開催されましたので主な内容についてお知らせします。

### 若葉台特別支援学校(横浜わかば学園)が 旧若葉台東小学校跡地に開校しました

旧東小の跡地では、緑区にあった市立新治特別支援学校移転整備の工事が進められていましたが、昨年12月に竣工し、1月9日「横浜市立若葉台特別支援学校」(通称：横浜わかば学園)が開校しました。

委員会では、坪井純一同校校長から次のような説明がありました。

- ・昨年12月14日に校舎の引渡しを受け、12月末に引越しをした。
- ・1月9日に地元関係者にも出席いただき、開校宣言式を行った。
- ・1月10日から肢体不自由児が通学バス等で通学を始めた。
- ・4月から、新たに知的障害高等部も開校するので、4月26日(金)に開校記念式典を開催する予定。
- ・今後地域との交流を少しずつ進め、車椅子で街へ出て行く機会を増やしたい。
- ・正門の前の見通しが悪いので、カーブミラーを設置するように関係機関と調整を行っている。
- ・4月からは知的障害高等部も生徒26人が入学してくるのでよろしくお願ひしたい。

なお、1月12日に実施した地域を対象にした内覧会には、約250人の地域の方々が参加し、関心の高さをうかがわせました。

また、工事期間中休館していたコミュニティハウスも、新たに「横浜わかば学園コミュニティハウス」として2月1日(金)から正式にオープンしました。

利用のお問合せは TEL 922-3221まで。(休館日：火曜日・金曜日・年末年始)

#### ●学校内の地域交流スペースについて

特別支援学校内には、新たに地域交流スペースが設けられました。これは、特別支援学校の教育活動に関わりのある活動を地域の人たちが行う場合に学校の施設を開放するもので、その概要は次のとおりです。

- ・利用できる部屋…地域交流室、地域連携室、多目的ホール等(案内図参照)  
※学校が教育活動や学校行事等で使用する場合はそちらが優先します。
- ・利用料は無料ですが、あらかじめ団体登録が必要です。
- ・事前に電話で学校に利用の申込をしていただきます。お問合せは学校まで。

TEL 923-1300

#### 第13回委員会の概要

日時：平成25年2月9日(土)

10:00~11:45

場所：旧若葉台西中学校木工室

- 内容：1 第12回検討・調整委員会  
議事内容
- 2 2校の跡地活用整備状況と今後のスケジュールについて
- 3 その他



開校宣言式(1月9日) 市HPから



【裏面あります】

## 旧若葉台西中学校の整備について

旧若葉台西中の整備については、前回の委員会で平成 27 年度中のオープンに向けて努力したいという説明が区役所からありましたが、今回それをさらに精査した結果を踏まえて、区役所から整備を進める上での課題や現在の状況に関する説明がありました。

- 今後の大きな流れとしては、26 年度には改修工事をしたいと思っているので、25 年度に実施設計(実際に工事を行うための設計)を行いたい。27 年度には施設をオープンしたいと考えている。
- 管理運営団体の募集については、26 年度には決定したいとしているので、25 年度に募集内容等の整理を行いたい。
- 整備改修工事を行うための経費は、旧西小学校の建物売却益の半分の約 6,600 万円と、土地貸付料の半分(年額約 770 万円×4 年分)の約 3,080 万円を合計した約 9,680 万円になる。
- この経費で対応できるものとして、電気容量のアップ(50KVA→100KVA)、水道の直結給水化、体育館の防音と夏の暑さ対策、自動火災報知設備の設置、音楽室の防音工事、職員室・校長室の地デジアンテナ設置、エレベーターの設置、バリアフリー化への対応、車椅子用トイレの設置などを考えている。
- その他、水道や防音工事、バリアフリーの関係、福祉のまちづくり条例で定められているものを考えている。
- 問題は電気容量で、仮に 100KVA にアップしたとしても、4 教室分程度の空調しか賄えない。全館空調のためには 200KVA が必要だが、そのためには更に 3,400 万円程度が必要になると想定され、これが大きな課題となっている。

★これに対して次のような意見が出されました。 ※ (区)…区役所からの回答

- 空調がなく、冬は寒く夏暑いようなところを料金払ってまで借りてくれるところがあるのか。地元が使っているから施設ももっている。  
—十分に使っていただきたいので、電気容量のアップに向けて努力していきたい。(区)
- 旧西中が防災拠点になっているが、整備にあたっては防災関係は現状維持でお願いしたい。  
—これから具体的に詰めていかななくてはいけないが、必要なものと考えている。(区)
- オープンするのに最低限必要なことだけやって、開所してから整備していくというやり方もあるのではないか。  
—公共的な施設として、あらゆる人が利用できるようにしなくてはいけないと考えている。そのためには色々な可能性も探って行きたいが、皆さんが利用できる条件ははずせないと考えている。(区)
- 横浜市が福祉のまちづくり条例を決めたのだから、市がきちんと予算をつけて公共施設の整備を行うのは当然ではないか。われわれも随分我慢してきたが、これからはそうはいかない状況だと思っている。
- 電気容量の不足については、不足する電気を自家発電設備で賄ったらどうか。災害時にも活用できるし、コストも下げられると思う。
- 旧西中は、福祉のまちづくり条例で対象となる施設のどれに該当するのか。  
—文化施設に該当する。(区)
- 管理運営団体が赤字になると債務が発生するが、その場合管理運営団体はどこまで責任を負うのか。  
—基本的には管理運営団体の責任で対応することになる。横浜市がカバーするという仕組みにはならないと思う。(区)
- 体育館の雨漏りがひどくなって、このままでは使えなくなるのではと心配している。きちんとした管理のためにはお金が必要だ。廃校になったとき、市はここを市民の芸術・文化・スポーツの活動拠点とすると言っている。それだったら市役所が旗を振って何とかして欲しい。  
—予算上厳しいところはあるが、雨漏りにしっかりと対応できるよう努力していきたい。(区)

最後に、山岸委員長から「色々な意見が出たが、もう少し詰めるところもあり、違う機会を作ってもう少し検討していきたい。委員会と行政で相談して決めたい」という発言があり、委員会を終了しました。

■本委員会へのご意見は、ファクスまたは E メールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会事務局】 旭区役所 区政推進課 地域力推進担当  
ファクス：951-3401 Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp 電話：954-6028